



# ゲートウェイ接続

・ゲートウェイ接続 (1 ページ)

## ゲートウェイ接続

Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud Traffic Analysis 用にインストールされると、Crosswork Data Gateway と Crosswork Cloud の間の接続をモニターするポリシーが自動的に作成されます。Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud への接続を失った場合（レポート間隔内で Crosswork Cloud との通信に失敗した場合）、アラームが生成され、Crosswork Cloud Traffic Analysis [アラーム (Alarms) ] ページに表示されます (🔍) > [モニター (Monitor) ] > [アラーム (Alarms) ] 。

ゲートウェイ接続の詳細を表示したり、アラーム重大度レベル、モニター対象ゲートウェイのリスト、または通知エンドポイントを更新したりするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** 🔍 > [構成 (Configure) ] > [ポリシー (Policies) ] の順に選択します。

[ゲートウェイ接続 (Gateway Connectivity) ] で、アクティブなアラームの数、モニター対象のゲートウェイの数、および最新のアクティブなアラームを持つゲートウェイを表示できます。

**ステップ 2** [ゲートウェイ接続 (Gateway Connectivity) ] で、[詳細 (Details) ] をクリックします。

**ステップ 3** デフォルトでは、[概要 (Overview) ] タブに現在のゲートウェイ接続ポリシーの設定が表示されます。

**ステップ 4** アラームの詳細を表示するには、[アラーム (Alarms) ] タブをクリックします。このページから、[ゲートウェイ接続の喪失 (Lost Gateway Connection) ] アラームをクリックして特定のアラームの詳細を確認したり、[アクティブ (Active) ]、[確認 (Acknowledge) ]、または [履歴 (History) ] のタブ間を移動したりできます。

**ステップ 5** アラームの重大度やモニター対象ゲートウェイのリストを変更したり、エンドポイント通知の設定をしたりするには、[編集 (Edit) ] をクリックします。

- [トリガー (Triggers) ] > [ゲートウェイルール (Gateway Rules) ] > [重大度 (Severity) ] ドロップダウンメニューで、重大度を選択します。
- [データ (Data) ] で、[変更 (Modify) ] をクリックして、モニターまたは無視するゲートウェイを更新します。

- c) **[アクション (Actions) ]**で、既存のエンドポイント通知を変更、もしくはさらに追加できます。設定できるエンドポイント通知のタイプの詳細については、[通知エンドポイントについて](#)を参照してください。
  - d) **[保存 (Save) ]**をクリックします。
-

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。